

が丘ボーイ

カードゲームでSDGs学ぶ

社会課題の解決案を協議

国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を学べるカードゲームを活用した授業が2日、盛岡四高(五日市健校長)で開かれた。キャリアコンサルタントの赤澤徳俊さん(赤澤号代表)が講師を務め、2年生約240人が参加。カードに書かれた課題をグループで話し合い、解決すべき社会課題を考える機会とし、同時に協力して問題に取り組む力を養った。



グループごとにアイデアを出し合っ生徒たち

同日はカードゲーム「THE SDGs Action card game」を使用した。クロスは「トレードオフ」「リソース」という2種類のカードで構成される。トレードオフカードには、例えば「環境のためにエアコンを使わないようにしたら熱中症になりかけた」など、持続可能な社会のための取り組みと、それによって生じる課題が書かれている。この課題を「AI」「おもちゃ」「微生物」など、既存の物や概念が書かれたリソース(資源)カードを3枚組み合わせ、課題解決のアイデアを考える。

生徒らは4人程度のグループに分かれアイデアを発表。授業後半は、自分たちでトレードオフカード、リソースカードの内容を作り、他のグループと交換。同級生の考えた、生活上の身近な課題を共有し、その解決策を出し合った。

辻野里夏さん(2年)は「相手と自分の意見をすり合わせて、より良いアイデアを見つけることが大事だと感じた。まず身近な意見の違いを受け入れることが、人種の違いや異文化への理解につながる

のだと思う。自らカードを作ることで、自分が何を生活上の課題としているか、見詰め直す機会にもなった」と話していた。

赤澤さんは「協力してアイデアを出し合えば、一人では見えなかった解決策が出る。体験を通し、パートナーシップの重要性を感じてほしい。そうした協力の結果として、誰も取り残さないSDGsの達成につながっていく」と期待していた。

小品に個性 ミニアチュール



アートショップ彩画堂で開かれているミニアチュールzeo2020出品作家有志展

鬼灯の

北奥三国はおらず 鬼灯の 金次郎は 三年の間 兄との不和 ひとつ関係 た。 父が亡く

「私にクルマに乗ってー」 何事かと、ボクはうつろった。綾乃さんと住職はどっしり 間柄なのだ。一瞬、思いをめぐらした。

「えっ」と言った。 して「えっ」と言った。